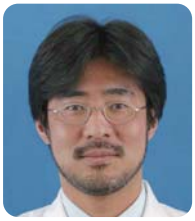
日本赤十字社
松江赤十字病院　地域医療連携課

れんけいだより

vol.15
2012年 10月号

神経内科部長就任あいさつ



神経内科部長
福田 弘毅

平成24年７月より清水保孝前部長の後任として神経内科部長に就任いたしました。一言ご挨拶を申し上 げます。

私は平成12年に一度当院に赴任させていただきました。当時は急性期から慢性期まで神経疾患のあらゆる病態の患者が同時に入院している状態で、病院完結型の医療を突き進んでいる状態でした。その中で山陰初の回復期リハビリテーション病棟の運用が開始となり、赴任３年目にはリハビリ科担当医としての職務を経験させていただきました。運営にあたっては当時のスタッフが一丸となって、いかに患者のADLを高めて自宅退院、社会復帰につなげていくかという課題に取り組んでいたことを思い 出します。私も退院前自宅訪問なども経験し、脳梗塞の急性期から回復期を一から勉強させていただいた貴重な期間でありました。

しかし、時代は変わり、病院完結型から地域完結型の医療の推進に合わせて当院も回復期リハ病棟の停止と急性期病院としての役割の充実、地域連携の推進へと推移していきました。そのような中で再び平成17年から当院で勤務させていただき、この地域での急性期基幹病院としての役割を果たすための取り組みを一スタッフとして続けてまいりました。

今回、急遽部長を命ぜられることとなり、その重責に戸惑い悩みながら当院の役割と当科のあるべき姿を改めて模索しております。神経内科スタッフ減員のなかでカバーしていくことは大変ですが、当院の病院機能を考えると神経救急診療の維持は地域の役割として不可欠と考えます。t-PA療法をはじめとする脳血管障害の急性期対応の機能は落とすことなく診療レベルの維持向上に努めていきたいと考えております。急性期診療の中で診断能力の向上と最新かつ効果的な治療の取り組みも求められていくものと思われ、スタッフ一同知識と技術の向上に努めていく所存です。急性期からリハ部門と連携をはかり患者の早期回復・社会復帰を目指しつつ、脳卒中地域連携パスの活用など地域との連携を積極的に図っていき効果的な急性期病院としての運用を考えていきたいと思っております。そのためにも地域の先生方のご指導とご協力が何より重要と考えております。

新しいチームとしてまだまだ至らない部分が多いと思っておりますので今後とも各方面からのご指導を何卒よろしくお願い申し上げます。

第9回

松江赤十字病院 地域連携交流会

８月２日ホテル一畑で第９回松江赤十字病院地域連携交流会を開催しました。院外から59名、院内から49名の参加でした。

第一部は「在宅での看取り」をテーマに４名の先生方にご講演いただきました。１題目は松江医師会病診連携委員長、野津立秋先生が「松江医師会の看取りに関するアンケート結果」についてご講演されました。多くの先生方がアンケートにご協力いただき、在宅の看取りへの関心の深さに感銘を受けました。２題目の当院消化器内科副部長、串山義則先生には「病院での看取りについて」と題して、当院がん患者の動向を集計され、末期がんや緩和医療の基本的な考え方を講演いただきました。３題目は島根県眼科医会会長の清水正紀先生が「在宅診療における各科の協力について～眼科在宅医療の現状と他科との連携～」と題し、眼科も他科と連携し、在宅の看取りにかかわっていきたいと大変前向きなご講演をいただきました。最後の４題目は島根県参与、病院事業管理者の中川正久先生に「在宅医療の推進について」ご講演いただきました。高齢化に向かって在宅医療の推進は避けて通れない課題であることと、そのための体制構築には多くの困難な課題のあることをお示しいただきました。４名の先生方には大変なご苦労をいただき、資料を作成され、意義深い会にしていただいたことに深謝申し上げます。

第二部は香川副院長の司会で、秦院長、森本医師会長の挨拶をいただき、添田副院長の乾杯でなごやかなうち親睦を深めさせていただきました。新任部長紹介は、曳野肇化学療法科部長と福田弘毅神経内科部長でした。

副院長・医療社会事業部長　中岡　光生

島根町で「地域懇談会」を開催しました

去る８月30日（木）島根町島根公民館で「地域懇談会」を開催しました。

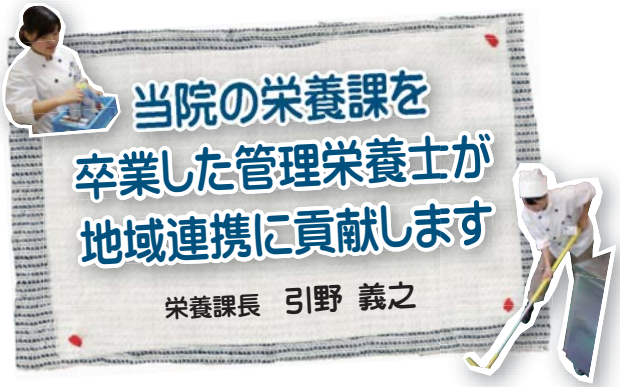
今回の「地域懇談会」は秦公平院長の「医療政策と松江赤十字病院の役割」と、影山圭子救急看護認定看護師による「救急車を呼ぶ前に」と題し、島根町の住民の方約75名を対象に行いました。住民の方からは、「松江赤十字病院の現状が良く分かった」「院長先生が来られるとは思っても見なかった。松江赤十字病院を身近に感じた」「かかりつけ医を持つ必要性が分かった」「いざという時にどうすれば良いのかよくわかり大変参考になった」など評価をいただけました。中には「選定療養費は他の赤十字病院でも共通なのか」「病院に入院するつもりで出かけたが帰された」など率直なご意見を聞くこともでき有意義な時間をもつ事ができました。今回は「島根地区健康まつえ21推進隊健康講座」の一環として開催させていただきました。今後も松江市内各所にて開催していく予定としております。この場を借りご協力いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

地域医療連携課長　齊藤　文章

脳卒中地域連携パスについて

脳神経外科 副部長　矢原 快太

平成20年、厚生労働省の指導のもと、脳卒中地域連携パス（以下、脳パス）が始まった。急性期病院として当院、回復期病院として鹿島病院、松江生協病院、玉造記念病院、松江記念病院、安来第一病院、錦海リハビリテーション病院で始まり、平成22年には維持期として開業医、平成23年には急性期病院として松江市立病院も加わり、松江全体としての脳パスが完成した。年々、脳パス症例も増え、平成23年には年間37例まで増えているが、全脳卒中症例の１割にも満たないのが現状である。松江市はこの脳パスが始まるまで回復期病院が存在しないという全国でも珍しい自治体で、急性期病院で退院までという考えが強く、医師、患者さんにあったことも事実であり、さらに症例を増やすためには、この意識改革も必要であろう。脳パスを始めて、微力ながら責任者として頑張ってきたが、他病院の医師やco-medialとの交流を通じて、松江全体の医療を考えることができるようになったのは、個人的にうれしい誤算である。松江の方にとって、さらによい医療を提供できるよう、各病院、さらに多くの診療所と協力、努力して行く必要を感じている。



当院の栄養課を卒業した管理栄養士が地域連携に貢献します

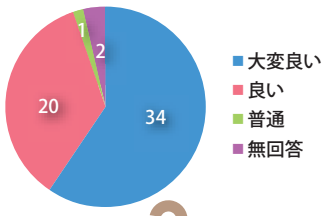
栄養課長　引野 義之

当院の栄養課では、地元の短期大学卒の栄養士を４年間の期限付きで臨時採用しています。毎年２名ずつ採用していますので、８名の臨時栄養士が在籍しています。彼女らは４年間、調理業務や栄養管理業務を行います。この取り組みは今年で６年目になります。

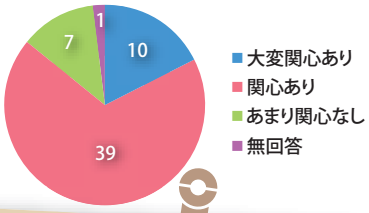
短期大学を卒業した栄養士が管理栄養士の国家試験を受けるためには３年間の実務経験が必要です。当院で実務経験を積み、管理栄養士の国家試験に挑戦します。働きながら管理栄養士の国家試験に合格することは非常に難しいのですが（短大既卒者の合格率は10～20％程度）、今までの実績は良好です（合格率83％）。管理栄養士免許を取得し、残りの１年間で働きながら就職活動を行います。皆が素直で、積極的に実務をこなし、一生懸命勉強しています。

毎年、２名の優秀な管理栄養士が卒業する予定です。彼女らの多くは近隣の病院や福祉施設に就職することを希望しています。このことは将来の地域連携にも大きく貢献するものと思っております。どうぞ、よろしくお願いいたします。

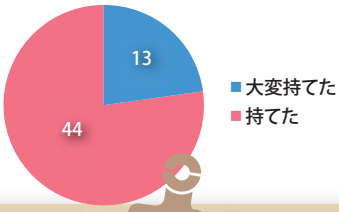
質問1
内容はどうでしたか？



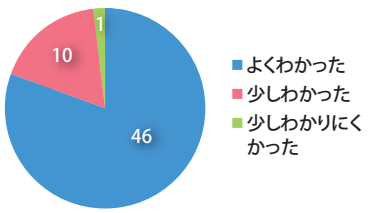
質問2
医療政策や医療問題について、これまでに関心をお持ちでしたか？



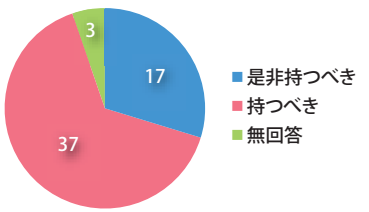
質問3
本日の講演で医療政策や医療問題に関心が持てましたか？



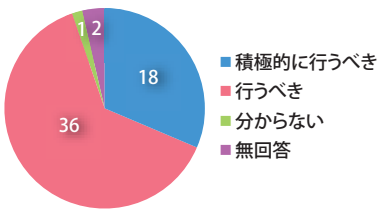
質問4
救急車を呼ぶ時のポイントがわかりましたか？



質問5
今後、今回のような講演会を他の自治会でも持つとよいと思われますか？



質問6
松江赤十字病院は今回のような企画を今後も行うべきだ。



研修会等のご案内

外来糖尿病教室

11/7（水） 10:00～13:30　本館6階講堂
「合併症を防ぐために−その1−」

- 神経障害のおはなし　糖尿病･内分泌内科 副部長　垣羽寿昭
- いつの間にか濃い味になっていませんか?　管理栄養士(糖尿病療養指導士)　長谷教代
  ～誰でもできる減塩の工夫～
- ワンポイントアドバイス　足を大切に　病棟看護師(糖尿病療養指導士)
- 体験談「これまでを振り返って思うこと」　すこやか会会員　竹内　健
- 食事会「少しの工夫で減塩メニュー」

12/5（水） 10:00～14:00　山陰中央新報ビル5F　料理教室
「調理実習」

- 目からウロコのヘルシーおせち　管理栄養士(糖尿病療養指導士)　安原みずほ
  ～ぜひあなたも挑戦しましょう～

健康医学講座

11/21（水） 14:00～15:30　本館6階会議室1･2
「多様化するうつ病～その診断と治療について～」　精神神経科 部長　室津和男

12/6（木） 14:00～15:30　本館6階会議室1･2
「脳ドックと認知症」　副院長　中岡光生

第６回地域医療従事者スキルアップセミナー

11/17（土） 14:50～18:15　本館6階講堂
「高齢化社会における循環器診療」

- 高齢者慢性心不全の管理について～みんなでなおしましょう～　循環器内科 医師　杉原志伸
- 高齢化社会における循環器系薬剤使用の注意点　循環器内科 部長　城田欣也
- ペースメーカー患者の新しい管理(ホームモニタリングシステム)　臨床工学課 係長　福田勇司
- 心臓リハビリテーション　第一リハビリテーション課 主任　福山直樹

漢方医学研修会

11/30（金） 18:00～20:00　本館6階講堂
「急性期治療に役立つ漢方薬」　静仁会静内病院 院長　井齋偉矢 先生

看護相談

1 がん･緩和ケア看護相談
2 スキンケア相談

病気と共に生活される患者様・ご家族様に、在宅－外来－入院と切れ目のない看護を提供していきたいと思い、領域に関する専門性の高い看護師による看護相談を開設いたしました。
患者さまご家族様の「より良い生活」を支援していきます。ご活用ください。

ご利用いただける方

- 当院ならびに当院外の病院で加療中又は加療歴があり看護師によるケア・相談をご希望の患者さま・ご家族さま。
- がん・緩和ケア、スキンケアは医療・介護職の皆さまのご相談にも応じています。

費　用

- 相談は無料です。一部費用の発生する部分がありますが、保険診療の対象です。
- 主な内容、利用方法は当院ホームページをご覧ください。

松江赤十字病院　地域医療連携課
〒690-8506 松江市母衣町200番地
TEL 0852-32-7813　FAX 0852-27-9261